博士学位請求論文(論文博士)審査出願手続き

［要項］

京都外国語大学大学院外国語学研究科

❐　手続き及び審査の流れ

1. 論文提出に際し、主査を予定する本学教員に事前相談を行い、その任務受諾の了承を必ず得てください。

2. 学位審査料（250,000 円）は、論文提出日までに次の指定口座に入金を済ませ、領収書等の写しを持参し、本学大学院事務室に提出してください。なお、一旦納入された学位審査料は理由の如何にかかわらず返金はできません。（本学の専任教職員の審査料は 125,000 円です。）

   銀 行 名：三井住友銀行　京都支店
   口座番号：普通預金　２８３１９０８
   口 座 名：学校法人　京都外国語大学

3. 論文提出に際し、予定する主査教員の了解のもと、「博士学位請求論文審査願」の教員確認欄に署名と捺印の後、本学大学院事務室に提出してください。

4. 論文の提出を受けて、学内で博士論文提出資格審査会を開催します。その結果により審査委員による査読が開始されます。その後、審査委員による協議をもとに、論文提出者との調整を経て「口述試問」の日程が決定されます。

5. 公開による口述試問を経て、最終の審査会で出された結果を報告書として大学院教授会に提出し審議されます。

6. 審議の結果可とされた者には、学期末（3月または9月）に、博士（言語文化学）の学位が授与されます。なお、学位記に記載する氏名については、博士学位請求論文審査願に記載された表記に準じたものとします。

7. 学位を授与された者は、授与日から 1 年以内に公表用として、論文の全データ（Word ファイル等）及び製本した論文を 2 冊本学に収めることとします。

❐ 提出に際して

1. 提出資格

(1) 次の各号のいずれかに該当する者であること。

① 博士課程前期 2 年の課程修了後、3 年以上の研究歴を有する者

② 大学卒業後、5 年以上の研究歴を有する者

③ 本学が前 2 号と同等の研究歴を有すると認定した者

(2) 次の各号のいずれにも該当する者であること。

① 全国的規模の学会・研究会等の学会誌又はこれに準ずると認められる学術刊行物に研究論文（査読付き）が 3 編以上掲載されていること

② 全国的規模の学会・研究会あるいはそれに相当する学会・研究会等で口頭発表が 3 件以上なされていること

2. 事前了承

主査を予定する本学教員に事前相談を行い、その任務受諾の了承を必ず得ること。

3. 提出期間

随時とする。

4. 提出書類

(1) 博士学位請求論文審査願　1 部（別紙様式 1）

(2) 論文　5 部（A4判）

(3) 論文抄録　5 部（A4 判）

(4) 履歴書　1 部（別紙様式 2）

(5) 研究業績書　1 部（別紙様式 3）

(6) 学位審査料振込領収書等の写し

5. 提出先

京都外国語大学大学院事務室　Phone：075-322-6603

6. 提出方法

上記書類をすべて揃え、本学大学院事務室の窓口に持参すること。なお、郵送は不可とする。

❐ 審査基準

博士論文の審査にあたっては、以下の項目が評価の基準となる。

1. テーマの設定及び研究方法が先行研究を踏まえている。
2. 研究資料である文献の分析・解釈が的確であり、且つ、表現・表記が論理的に展開し、論旨に明確性と一貫性がある。
3. 資料又はデータが的確に収集・処理されている。
4. 既存の研究に独自の知見を加えた独創的な内容を有し、学会において学術上の寄与に値する。

❐ 論文作成要領

1. 提出論文は、4部作成するものとする。

(1) 用紙については、Ａ４判用紙を使用するものとする。

(2) 提出論文の枚数については、次のとおりとする。

① 外国語（中国語を除く）は、Ａ４判用紙１枚につき上下左右のマージン３cmを目安に設定し、Century 又は Times New Romanの12ポイント30行で印字し、104枚以上とする。

② 日本語は、Ａ４判用紙１枚につき 1,330字（明朝11ポイント、１行38字、35行）で印字し、113枚（150,000字）以上とする。

③ 中国語は、Ａ４判用紙１枚につき 1,330字（11ポイント、１行38字、35行）で印字し、46枚（60,000字）以上とする。

(3) 内題・謝辞・目次・参考文献及び添付資料は上記の枚数に含まれない。

(4) 提出論文が外国語の場合､日本語による抄録を、日本語の場合､外国語による抄録（日本語訳を付ける）を表紙の次に綴じて添付すること。枚数については、次のとおりとする。
ただし、この抄録は本文の枚数に含まない。

① 外国語（中国語を除く）は、Ａ４判用紙１枚につき上下左右のマージンを、3cmを目安に設定し、Century 又は Times New Romanの12ポイント30行で印字し、13枚程度とする。

② 日本語は、Ａ４判用紙１枚につき 1,330字（明朝11ポイント、１行38字、35行）で印字し、12枚（15,000字）程度とする。

③ 中国語は、Ａ４判用紙１枚につき 1,330字（11ポイント、１行38字、35行）で印字し、12枚（15,000字）程度とする。

(5) 提出論文は、表紙を冒頭に添え、必ずファイル等（Ａ４判縦長、左端２穴）に綴じること。

＜表紙の書式＞

表紙には次の内容（フォントの大きさ等は任意）を明記すること。なお、所属・職階などは記さず、氏名のみとすること。

① 20●●年度 博士学位請求論文

② 論文タイトル

③ 氏名

以上